

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和4年4月19日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

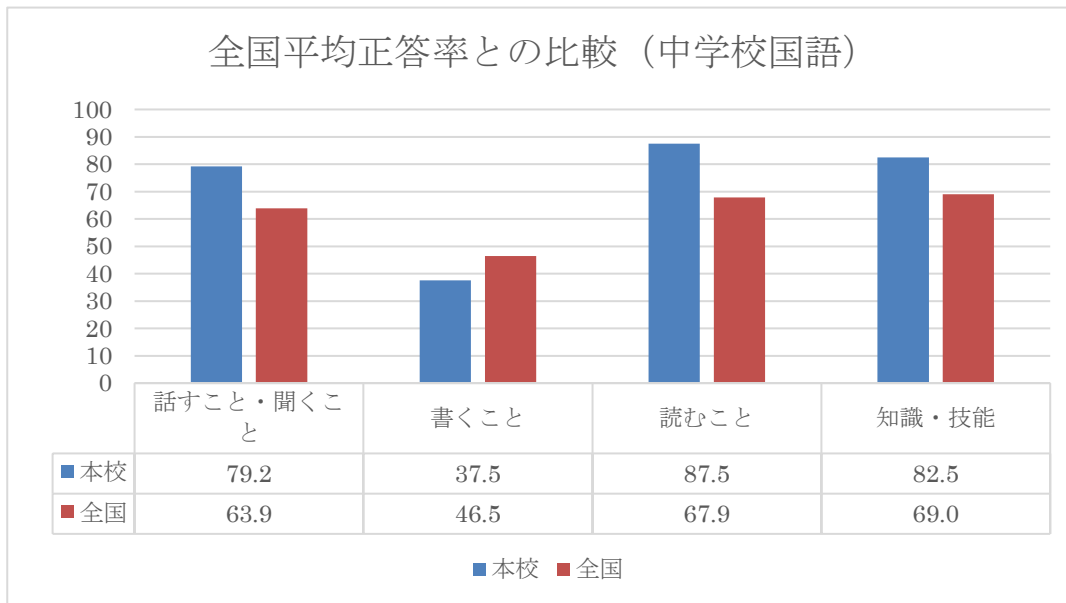
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、数学、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野の問題です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

「話すこと・聞くこと」「読むこと」「知識・技能」は、全国平均正答率を大きく上回っています。なお、国語全体では、全国平均よりも13ポイント上回る結果でした。無解答率は全ての問題で0%でした。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「知識・技能」が13.5ポイント上回っていました。これは、毎時間行っている漢字や語彙、文法等の小テストの成果だと思われます。また、「話すこと・聞くこと」が15.3ポイント、「読むこと」が19.6ポイント、全国平均正答率を上回っていました。相手意識をもった表現の工夫をすること、描写から心情や場面展開を捉えたり内容を解釈したりするという力がついていると考えられます。

課題は、「書くこと」の力を伸ばすことです。全国平均正答率を大きく下回っているだけでなく、他の領域に比べて正答率が低く、苦手としている生徒が多いことがわかります。中でも、複数の条件が出たときに、その全てを満たして書くことが苦手だとわかりました。「読むこと」や「話すこと・聞くこと」の力を生かして「書くこと」につなげるような言語活動を設定するなど、「思考力・判断力・表現力」を伸ばす授業へと改善していきます。

(3) 学力向上のための取り組み

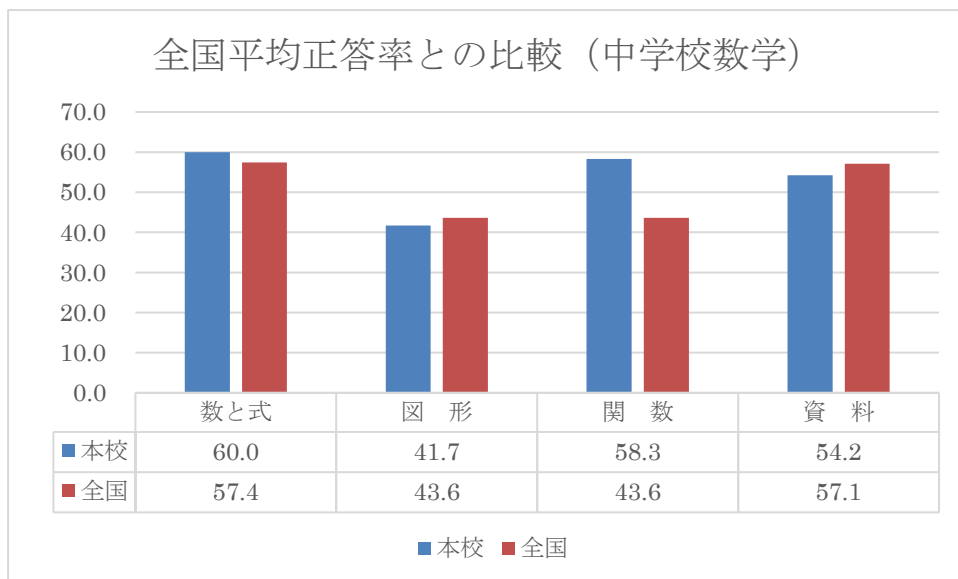
【学校では】

- 子どもの主体的な学びを促すために、子ども自身が学習過程を意識しながら授業に臨めるよう、振り返りシートを工夫します。また、単元を貫く言語活動を設定し、習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます
- 「書くこと」等、表現することに対する苦手意識を払拭するために、材料集めの段階で子ども同士が考えを交流し合う時間を持ち、その考えを深めたり広げたりできるようにします。また、推敲場面でも友だちと交流し、お互いに文章を推敲し合う活動を設けます。

【ご家庭では】

- 日頃の会話の中で、自分の考えを表現したり、話の内容を要約したりする機会を持ってほしいと思います。日記を書くなどの活動もよいと思います。繰り返すことで、「書くこと」等、表現力の向上につながります。

2 数学



(1) 結果

「数と式」「関数」で全国平均を上回っています。なお、数学全体では、全国平均を 2.6 ポイント上回る結果でした。

無解答率は、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「関数」に関する領域の正答率が、全国平均正答率を 14.7 ポイント上回っていました。また、「数と式」の領域では、全国平均正答率と比べて 2.6 ポイント上回っていましたが、自然数を素因数分解する問題については、全国平均正答率を下回っていました。学習指導要領の改訂により新しく導入された「箱ひげ図から分布の特徴を読み取る問題」については、全国平均を下回っていました。「図形」の領域では、全国平均正答率を 1.9 ポイント下回っていましたが、三角形の合同を証明する問題については、全国平均正答率を上回っていました。

今後、日々の授業で説明する活動、書く活動を継続して取り入れ、自分の考えを表現する活動を充実させていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

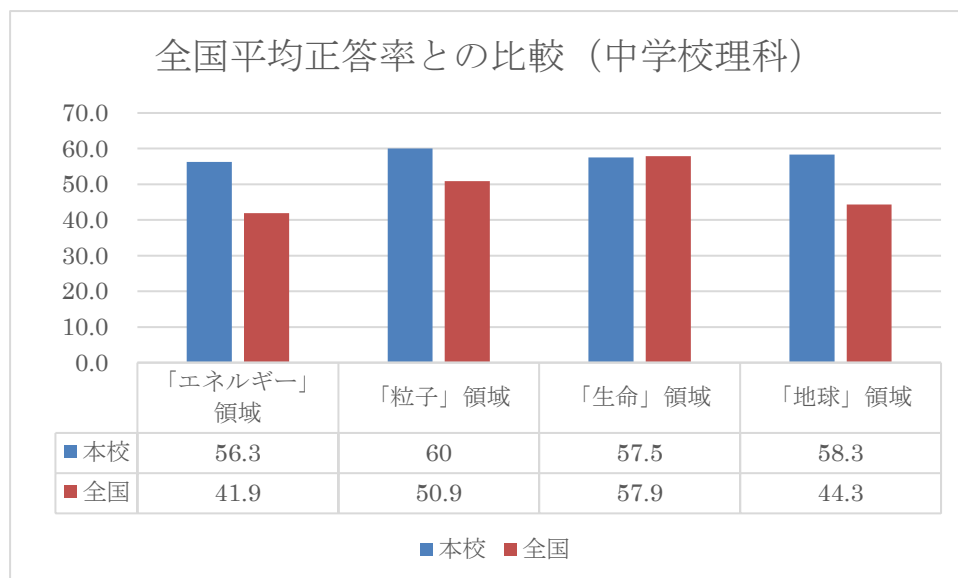
【学校では】

- 式から答えを出すだけでなく、式の意味を考えさせたり、教科書の例題を説明させたり、式から生活場面を想起させたりしながら、自分の考えを表現する活動を充実させます。
- 様々な見方や考え方ができるように、他者と話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- TT指導、ノート、プリント、ドリル、家庭への課題のチェックなど、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導を行います。

【ご家庭では】

- 子ども達に、「毎日数学の問題に触れること」「その日のうちに復習をし、わからないところは印をつけて、質問したり、もう一度解き直したりすること」を話しています。また、eライブラリを活用することで、効率的に苦手な所を復習することができます。お子様のノートやワーク、プリント等の様子やテスト、宿題に取り組む様子をご覧になって、励ましや承認の言葉かけをお願いします。

3 理科



(1) 結果

「エネルギー」「粒子」「地球」の領域において、全国平均正答率を上回っています。なお、理科全体では、全国平均正答率を9.7ポイント上回っていました。また、無解答率を見ると、全ての問題で0%でした。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらの評価の観点においても、全国平均正答率と比べて大きく上回っていました。また、科学的根拠を示しながら説明する問題についても、全国平均正答率を上回っていました。「選択式」「短答式」「記述式」の全ての問題パターンにおいて、全国平均正答率を上回っていました。

「生命」の領域では、全国平均正答率よりも0.5ポイント下回っていました。グラフや図から情報を読み取って、説明する問題の正答率が、全国平均正答率よりも下回っていました。特に、資料を比較して共通点と相違点を捉え、説明するような言語活動を充実させることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 目的意識をもった実験・観察を行うための基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。
- 理科の学習過程を「事象提示→課題→予想→実験・観察→結果→考察→課題・・・」とし、一貫した学習指導を行うことにより、児童の思考力、判断力、表現力を向上させます。
- 様々な見方や考え方ができるように、問題を読み取り、考える時間を増やし、自分の言葉で書いたり説明したりする活動を増やすことに努めます。

【ご家庭では】

- お子さんの宿題プリントやテストをご覧になって、励ましや承認のお声かけをお願いします。
- 理科が好きになるには「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。星空を見上げて星座の話をしたり、結露の理由を考えたりすることで、習ったことと日常生活での現象を結びつけると関心が高まり、理解も深まることもあります。
- テレビ番組の中には、自然や科学技術についてなど科学に関するものも多くあります。それらを視聴することで、興味関心が向上することもあります。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	87.5%	79.9%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	87.5%	37.0%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	100%	56.8%
自分にはよいところがあると思いますか。	50%	36.0%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	50%	21.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	87.5%	73.5%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100%	82.6%

全ての項目において全国平均を大きく上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。今後も家庭と学校で協力して、継続していきましょう。

挑戦心や規範意識の項目については、肯定的な回答をした生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	50%	15.4%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	0%	9.9%
「2時間以上、3時間より少ない」	0%	25.3%
「1時間以上、2時間より少ない」	62.5%	34.3%
「30分以上、1時間より少ない」	25.0%	17.0%
「30分より少ない」	0%	8.5%
「全くしない」	12.5%	4.9%

家庭学習については全ての生徒が2時間未満でした。また、1時間未満の生徒が4割近くおり、中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の意味を生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。学習計画表を活用しながら、日々の学習の取り組み方について考える時間を作ります。
- 放課後学習会を行い、学習習慣を定着させ、基礎学力を向上させる取組を行っていきます。
- 学習・図書委員会の活動として、「学習クラスマッチ」を行っています。全員が目標点数を取れるように協働して取り組んでいます。これからも継続していきます。

【ご家庭では】

- 規則正しい生活と家庭学習を定着させることは、学力を高めていくうえで極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。
- 家庭訪問時にお渡しした「家庭学習の手引き」をご覧になり、学習時間のめやすや、自主学習の説明を参考に、自分で決めて学習できたときは、承認の言葉かけをお願いします。